



No.20 / 54

有脇小学校校長だより

2021・2・26

# 有脇小学校を支えてくださっています



2月18日に「学校応援団感謝の会」と「稲作感謝の会」がひらかれる予定でした。しかしコロナ禍による緊急事態宣言が発令中ということもあり、本年度は中止としました。直接子どもたちから感謝の言葉をお伝えできませんが、心を込めて書いたお礼の手紙を配布させていただきました。また「稲作指導」のみなさんには、“みんなの田んぼ”でとれた“ありわきっ

子”で作ったおにぎりに、巻いて食べる予定でした5年生が美浜少年自然の家で作った「海苔」をお礼の手紙とともに同封させていただきました。

カラー版のものはリットですよね

有脇小学校はこの「学校応援団」のみなさんには成り立ちません。活動は、直接子どもたちに指導していただけるものばかりではありません。子どもたちの目に触れない活動もあります。どんな場面でも応援団のみなさんは有脇小学校の子どもたちのために力を貸してくださいます。本当にありがとうございます。

2月17日には「学校運営協議会」を行いました。この会では、学校アンケートの結果を基に1年間の教育活動を振り返ったり、来年度の学校運営方針を検討したりしました。ここでも学校を外から見ていただき、さまざまなご意見や要望をいただきました。学校は、子ども、職員、保護者、地域の方々で成り立っています。有脇小学校はたくさんの方々を支えられていることを再認識しました。なお、毎年行ってきました「わくわくチャレンジ」ですが、令和3年度から「GIGAスクール」という一人1台タブレット端末を使っ



ての授業がスタートする関係で、時間を確保することができなくなりました。子どもたちが毎年お世話になってきました講師の先生方には大変申し訳ございませんが、断腸の思いで中止とさせていただきます。長い間、本当にありがとうございました。



写真1

令和3年度から、「GIGAスクール」の取り組みとして、子どもたちに一人1台のタブレット端末(写真1)が配布され、授業等に使われます。有脇小学校でも2月24日に搬入(写真2)されました。この後、各学年に配布され、保管庫(写真3)で一括保管されます。この保管庫は、入れておくだけで充電される優れものです。このタブレット端末の操作方法、教科での取り扱い、プログラミング教育等々で、今まで以上に授業時間数



写真2

が必要となります。この時間数を生み出すために「わくわくチャレンジ」の時間を使わざるを得なくなりました。また、朝の15分間(3日間)を使って帯授業(15×3



写真3

=45分=1時間授業分)を行い授業時間を確保します。このタブレット端末を使うことで、情報の共有やプレゼンの仕方、資料の検索や授業の効率化等を図ることができます。有効に使っていくために、まずは教員が使いこなせるように勉強しますね。

## 地震がおきたら



「応急給水水栓」は正門西側に

先日も東北で大きな地震がありました。また、東海地方でも地震がありました。地震発生で真っ先に困るのがライフラインの寸断です。特に「水」です。半田市では「応急給水水栓」「災害用トイレます(マンホールトイレ)」の設置を平成30年年度までに完了しています。人間が生存するのに必要な水は1日3リットル、最低3日間以上の確保が必要とされています。ただ、災害が発生する時間帯は昼夜を問



「災害用トイレます」は校舎北側に



わないこと、発生時間帯による交通渋滞や道路の寸断等で応急給水の体制が整うまでに時間を要することが予想されます。日頃から「3リットル×家族人数×7日以上」の飲料水の備蓄をしておきたいものです。